

# はりねずみの

文・山崎 園子 絵・いもと ようこ

# ピックル



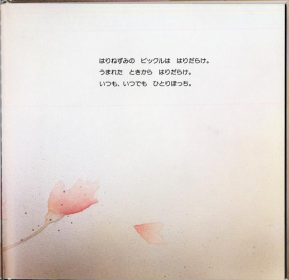
# はりねずみのピククル

文・山崎 薫子 絵・いとと ようこ





はりねずみの ピツクは はりだらけ。  
うまれ定 とまから はりだらけ。  
いつも、いつでも ひとりぼっち。





「いいよ。だっこして あんぶして……」

「ビツブルに ちかよっちゃだめよ。  
あの トグトグが ささったら たいへんだからね」  
「あんた はりだらけの ねずみ。  
きつと いじわるなこに きまっているよ。」

♪ ぶーんた

ともだちなんが

いそがしいよーせ

♪ ひとりのぼつちが

すきなんだもん ♪

♪ ぼんぼんぼんて

あかかんぼんぼんてい ♪

ぼっこなんが

ききうくつせーい ♪

♪ どけどけ

どけつせら

♪ ビックリおまの あとありせーい



「あれ、あれかが いじめられてるぞ。」



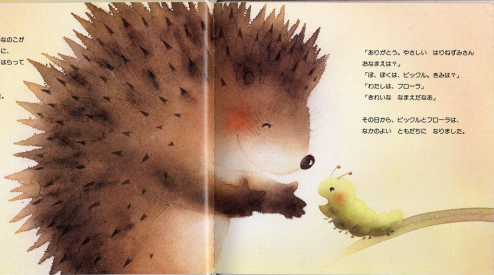
「0—い。」

うきゆき いちいち、とんでゆきよ。

「はひひ、はひひ、みそつかず。」

ピツフルが おおを ぞすと  
いじめっこたちは、あわてて にげました。

ピツルは、  
いちごの おん草のこが  
このがらないように、  
そっと ぶさを はらって  
くさの うえに  
しずかに  
のせてやりました。



「ありがとう。やさしい はりねずみさん  
おなまえは？」

「ほ、ほくは、ピツル。おみは？」

「わたしは、フローラ」

「きれいな なまえだね」

その日から、ピツルとフローラは、  
おかのよい ともだちに なりました。

「なにを しているの？」

「おつきさまに、おねがいしているの。

あなたもわたしも、

いつか、みんなと なかよく

なれますようにって、それから……」

フローラは、はずかしそうに いました。

「ほんの ちょっとで いいから、

もうすこし、かわいく なれますようにって。」





「なにを しているの？」

「おつきさまに、おぬがいているの。

あなたもわたしも、

いつか、みんなと なかよく

なれますようにって、それから……」

フローラは、はずかしそうに いいました。

「ほんの ちょっとで いいから、

もうすこし、かわいく なれますようにって。」

